

令和 7 年度 認定こども園クオラキッズの自己評価結果

社会福祉法人クオラ  
認定こども園クオラキッズ

1, 評価と取り組み状況

評価項目	取 り 組 み 状 況
保育・教育内容 ・計画・環境作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の子どもの発達状況を確認しながら、子どもが自ら取り組めるような生活や遊びの環境を整えてきました。のびのびルーム(うさぎ・ライオン・ぞう)は、様々な教材にふれ、取り扱いの仕方や思考力の芽生えの機会を多く取り入れました。その中で異年齢での交流も始まり、年長児へのあこがれの気持ちが芽生え、年下の子どもへの関りもふえ優しい気持ちも育っています。</li> <li>・遊び、食事、休息のリズムが身につき、運動遊びや食育活動への興味が深まってきています。</li> <li>・ひよこのへや(ぴよぴよ・ひよこ・ねこ)は、保育者や友達との関わりに興味があり、丁寧なふれあい方を体験してきました。みんなの中での生活は「たのしい」と思える遊びの環境作りに努めてきました。</li> </ul>
子どもへのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもの発達記録」は担任ひとりではなく、複数の保育者または園長とで検討し、子どもを園全体で見つめ育てていく方針のもと作成しました。そして、ひとりひとりの子どもの思いを受け止め、寄り添うことで安心して生活ができています。</li> <li>・ぴよぴよ組は特定の保育者が関わり、安心して園生活が送れるようにしました。そして周りの保育者にも慣れてきています。</li> </ul>
保護者対応 ・日々の連絡 ・ご意見対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年 2 回の連絡懇談会では、園生活の動画をみてもらい、家庭や園での様子の情報交換を行いました。また必要に応じて個人面談をして育児等の相談にも対応しました。</li> <li>・感染症の発生を早めに家庭へ連絡し、対策等の情報も配信できました。</li> <li>・プール遊びや山遊びの監視に協力をお願い安全に楽しく遊べました。</li> <li>・連絡帳では園生活をより詳しく伝えるように心がけました。</li> <li>・1 年間を通じてのご意見等については、職員間で話し合い検討した結果を保護者に伝えることができました。</li> </ul>
保育者同士の協力・ 連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1 日の中で 2 回の連絡会を行い、職員間の情報共有をし、また検討事項があると関係者での会議を行い、対策について話し合いました。</li> <li>・それぞれのクラスで月 1 回の会議を行い、月の反省をするとともに、今後について話し合い見通しを立てて保育ができました。</li> <li>・給食担当者、看護師、保育者等それぞれの専門職の視点で、行事企画や日々の保育内容について話し合いを重ね、お店屋さんごっこでは、ぞう組保護者の参加協力で、行事を見てもらう機会を設けました。</li> </ul>
食育・給食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2 歳児から子どもが育てたい野菜(トマト、ピーマン、そら豆、玉ねぎ、サラダホウレンソウ、さつま芋、ブロッコリー、キュウリなど)を植え、水かけを行いながら観察をして、収穫した食材を給食でおいしく食べることができました。</li> <li>・きのこの駒打ち体験、大豆やスポンジを箸等で運ぶゲームなどを行い、食べものに興味を持つ機会ができました。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和食を多く取り入れ、野菜を十分に使用したメニューで噛む力も出てきて野菜もよく食べるようになってきました。</li> <li>・アレルギー対応の話し合いを随時し、職員全体への周知を行い事故防止に努めました。</li> </ul>
安全・衛生・健康管理への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの朝の視診や聞き取りを入念に行い、体調がいつもと違う場合は特に気を付けて様子を見ました。</li> <li>・感染症の発生時には、早めに各家庭に知らせ、部屋の消毒を行い感染防止に努めました。</li> <li>・部屋で使う遊具は、午前午後と入れ替え、洗う、滅菌庫に入れるなどして衛生的に環境を整えました。</li> <li>・手を良く洗う、うがいをする、具合が悪い時には保育者に知らせる等を子どもへ分かりやすく伝え、自分の体は自分で守ることを機会をとらえて教えてきました。</li> <li>・遊具の点検、事故の対応などマニュアルの再確認やマニュアルの更新を行いながら意識改革をしてきました。</li> </ul>
研修 (資質向上の 取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもへの関わり方、子どもの発達等の研修会(園外、園内)に職員全員が平等に参加できるようにしました。</li> <li>・運動遊びについてのルールやメニューを職員間で共有し、子どもたちが楽しく、安全に遊べるようにしました。</li> <li>・子どもの人権、虐待、接遇について「あたりまえ」の考えを見直す取り組みをしました。</li> <li>・危機管理、感染症対応について実践しながら研修しました。</li> </ul>

## 2, 今後取り組むべき課題

保育方針・理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもは「遊びを通して学ぶ」という考えをもとに、楽しい遊びの環境を作り出し、主体的に取り組み、自立していくようにする。</li> <li>・全職員が方針や理念の理解を深め、さらに保育教育現場に生かす。</li> </ul>
保護者対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園生活の様子を丁寧に伝える。</li> <li>・話しやすい保育者の雰囲気作りに努め、保護者の方との関係を深める。</li> </ul>
安全・衛生・健康管理への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予測される子どもの行動を把握し、事故防止に努めるなど危機管理能力をさらに高める。</li> </ul>
小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒園児交流会を実施する。</li> <li>・小学校の先生との情報交換、架け橋プログラムの作成をする。</li> </ul>
保育者同士の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡漏れの内容に、1日2回の連絡会を継続する。</li> </ul>
研修・資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの思いに沿った保育内容、主体的に取り組めるような保育内容を園全体で検討し、実践していく。</li> <li>・子どもの目線に立った関わり方や保護者の方に対して平等な声掛けができるようにする。</li> </ul>

以上の通り報告いたします。

令和8年3月11日

認定こども園クオラキッズ

園長 段 久美